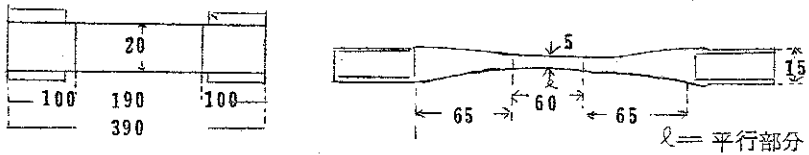


上記試験に必要なテストピース加工法について

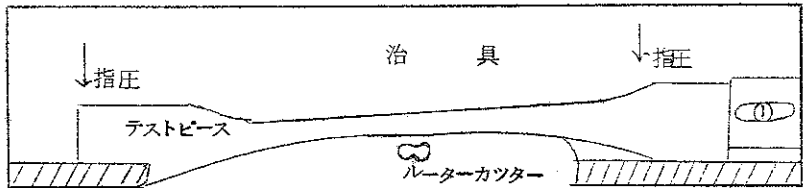
1. 概要

強度試験に、圧縮、引張、曲げ、衝撃、剪断の各テストピースが必要であるが、圧縮、曲げ、衝撃、剪断、用のテストピースは比較的容易に機械加工が出来るので、問題はないが、引張試験用テストピース加工については従来、機械で全部の加工が出来ず、ほとんど手加工だけによつて加工して来たもので、これをルーターマシンにより容易に加工出来るよう、加工用治具を研究試作した。

2. 引張試験テストピース寸法 (mm)



3. ルーターマシン用治具



4. 成果 上図の治具を使用しピース加工の結果、軟材加工の場合は、だいたい良い結果が得られたと思ひ、しかし堅木材の加工の場合は、まだ不備な点があるので、今後継続して研究したい。又、特産材を家具のみならず、集成材、建材として広範囲に利用する場合の一つの指針となるべき質料を得た

(6) 寝台・組立金具の研究

1. 担当者 研究員 永吉 忠之
工業技師 鮫島 正登美
2. 目的 量産に適した分解組立可能な金具の考案
3. 概要 寝台の量産と県外移出を振興せしめるためには嵩ばらない輸送に適した組立分解の可能なものであり、構造が簡単であり堅牢であること、組立に時間を要せず工具類の使用をなるべく避け確実に組立てられること長期に亘る使用に耐え、生産工程上加工取付けが容易であり、廉価であることが必要である点を考慮して一般に市販されている丸頭ビスを利用した金具を考案した。
4. 成果 荷造りの嵩が小さく、分解された際に取付金具の突起がなく、重ね合し振動を

の他に打痕、擦傷等を生ずることがなく、梱包材料費が軽減されるまたねじに依る締付は固定を原則としているために金具の構造取付けが簡単容易で組立後長期の使用で弛みを生ずることが全くない。その他概要で述べられた条件を満たすものであると考えられる。

(7) 成型家具の研究試作

1. 担 当 工業技師 末吉光雄
 〃 鮫島正登美
2. 目 的 生活様式の変化に伴つて日常使用される家具も近代的になりつつあり、成型家具の普及も速度が早まっている。一般に使用されている応接用三点セットを成型によりまとめて、次の点に主な目的がある。
1. 量産によるコストの低下に伴い県外移出を試みる
 2. デザイン上からは軽量をセットとしてまとめる
 3. 脚物家具の既製化の可能性を県下の業界へ発表する。

3. 概 要

試作品の内容

1. 化粧板 シオジ $0.2 \frac{m}{m}$
2. 芯材 タブロータリー単板 $1 \frac{m}{m}$
3. テーブルトップ ロールコア
4. 接着剤 醋ビ+尿素
5. 脚 $1.5 \frac{m}{m}$ 鉄パイプ
6. 座 ソフトラバー置クッション
7. 裂地 ドレープ